

鎌倉女子大学のリスキングへの取組み

短期大学部初等教育学科通信教育課程 (e-learning course) の新設

鎌倉女子大学短期大学部 学部長・教授 小泉 裕子

1. はじめに



鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 (e-learning course) (2025年4月開設) は、いわゆる従来型の通信教育とは異なり、e-learningを取り入れた新しい時代の学修方法を提案する画期的な通信教育課程である。2024年8月29日、すでに設置認可を受け、世界中の大学が続々と導入しつつあるグローバルなICT教育を、我が国の短期大学としては先駆けて実現したと言っても過言ではない。

創立80年の歴史を持つ鎌倉女子大学短期大学部は、これまでたくさんの保育士や学校教育職員を養成してきたが、ここに来てe-learningを活用した新しい教育のカタチを提案し、スタートさせる趣旨と意義をお伝えしたい。

あらためて言うまでもないことだが、急速な少子化が進行する中で、変容する社会を見据えた高等教育のあり方が課題となっている。平成29 (2017) 年3月には文部科学大臣より中央教育審議会に対し、「我が国の高等教育に関する将来構想について」諮問がなされ、平成30 (2018) 年11月に、その答申として『2040

career

KOIZUMI Yuko ●



横浜国立大学大学院修了 (1996年) 後、鎌倉女子大学児童学部教授及び大学院教授を経て、短期大学部学部長 (2019～)。鎌倉市児童福祉審議会委員、鎌倉市子ども・子育て会議会長、茅ヶ崎市子ども政策審議会委員長等を兼任。『チコちゃんに叱られる! (NHK)』(2020年出演)、(株)リクルートマーケティングパートナーズとのkidsly共同プロジェクト (2019-2021年) 他。

年に向けた高等教育のグランドデザイン』が公表された。2040年には、18歳人口が約88万人まで減少し、現在の7割程度の規模になることが推計され、そこでは多様で柔軟な教育研究体制を積極的に構築することが提言されている。各大学等が自身の強みや特色を生かし、学び手の意欲を継続的・持続的に呼び起こすと共に、VUCAの時代を支える人材育成の基盤構築を目指した斬新な改革、取組みが求められている。

こうした動向に呼応し、鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部では、学長を委員長とした「将来計画委員会」が招集され、現在も如何なる時代にも対応できる大学創りをさまざまな角度から検討しているところであるが、短期大学部がいち早く新しい初等教育学科通信教育課程 (e-learning course) を開設することがで

きたのには、それ相応の積極的な理由がある。

2. VUCAの時代こそ、スピード感を持った短大の教員養成の推進を ▼

鎌倉女子大学短期大学部は、神奈川県の中大では唯一、小学校教諭二種免許状の取得可能な短期大学として、その存在価値は歴史的にも高く評価されているが、同時に幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の複数取得を可能とし、教員養成系4年制大学でも難しい3つの国家資格・免許を同時に取得のできる短期大学である。近年の山積する教育課題にスピード感を持って対応する教員養成大学への期待が高まる中で、この伝統と実績に裏付けられた「2年間で初等教育の専門家を育成する」という鎌倉女子大学短期大学部の「強み」をe-learningを用いてさらに拡張しようとするのは、言わば時代に求められた必然の選択であった。

3. 多様な教育課題を支える人材育成、社会人に適した学びの場を構築するために ▼

近年我が国の学校現場には、デジタルネイティブな子どもたちが登場し、これに伴い初等教育の実態が大きく変わろうとしている。VUCAの時代に向かって教員に求められる資質・能力が拡大し、個性やキャリア、世代を超える異年齢など多様な人材が期待されている。文部科学省は、教員採用試験における「社会人を対象とした多様な選考の取組」を掲げ、社会人経験者の採用を積極的に呼びかけている。

また、これまでの実績や勤務経験に基づいた専門的能力・識見を適切に評価するなど、多様なバックグラウンドを持った優れた人材を確保する努力が叫ばれている。

以下、いくつか各都道府県・指定都市教育委員会ですでに実施されている取組みの例を紹介しておこう。

東京都教育委員会では「社会人から教員へ」と銘打ち、若手初任採用と平行し、25歳以上の社会人特別選考枠を導入、また神奈川県教育委員会では秋期試験を実施し、元教職経験者や社会人経験者を対象とした特別選考枠を導入している。このような社会人の採用が進められている中、働きながら教職を目指すリスキリングや、いったん退職をして教職を目指すリカレント教育へのニーズや期待がますます高まっていくのは、これもまた必然の流れと言えよう。

そのため、本学の新たな通信教育課程では、学生像を従来イメージしていた高校卒業後の18歳と限定するのではなく、社会経験や多様な専門性を有する社会人を対象としたリスキリング・リカレント型の「教員養成」の実現を目指すことになった。

4. リスキリング・リカレント教育を充実するための通信教育課程(e-learning) 授業 ▼

社会人を対象とした教育課程の構築に際し、教育方法をより一層効果的なものにしようと、e-learningを導入した背景には、コロナ禍のオンライン授業から得られた授業研究の成果が

後押ししたこともある。教育の場面に止まらず、オンラインでのコミュニケーションは社会のすみずみまで行きわたり、これが常態化し、誰もがそのメリットを経験し、このツールを受け入れる素地は技術的にも心理的にも十分に形成されたと見てよい。

2020年、鎌倉女子大学学事調査研究センターが取りまとめた「遠隔授業に対するアンケート報告」において、受講した学生からの遠隔授業に対する評価が発表された。当時の在学生は、コロナ禍以前に遠隔授業をほとんど経験しておらず、対面授業をスタンダードとする学生たちであったにもかかわらず、「遠隔授業は大学の授業を受講する上で効果的授業形式だと思ったか」の質問に対し、効果的であると答えた学生の割合は、効果的でないと答えた学生の2倍に達する高い評価を見せた。また、当時の遠隔授業は、①教材配信・課題提出型の授業（一般の通信教育類）や、②テキストとオンデマンド（オンライン）授業形式等の複数のパターンで実施されたが、「受講しやすさ」「学習効果の高さ」「参加意欲を高く保てる」等の項目においてオンデマンド授業の効果が教材配信・課題提出型の授業に比べ相対的に高く得られたことも明らかになっている。

この報告から得られた知見も、社会人を対象とした通信教育（e-learning course）を推進する根拠となった。e-learningの魅力は、授業時間の自由選択（いつでも、どこでも）を可能とし、質疑応答に関しては個別最適な学修環境を提供できることである。また、オンデマンドでは、レポート学修で学びを深める効果もある。こうしたエヴィデンスから、私たちは、

e-learningが社会人を対象とする教員養成教育の方法としてふさわしいという確信を得た。

このような経緯を経て、鎌倉女子大学短期大学部通信教育課程（e-learning course）を開設するに至った。

5. さいごに ▼

最後にその教育課程の魅力・特長をご紹介します。

(1) 年齢にとらわれない多世代型、いつでも、どこでも学べるオンデマンド授業

その特長の一つは、オンデマンド中心の学習スタイルにある。18歳以上の若者をはじめ、働きながら教員免許・資格を取得したい人、ペーパーティーチャーの学び直しやリスクリングに意欲のある人、子育てに一段落した人、キャリアチェンジを図りたいリカレントに興味のある人など、社会人のライフスタイルに応じて、「いつでも、どこでも」自分のペースで学習を進めることのできる学習環境を実現する。

年齢にとらわれない多世代型、男女共学の教育課程で自由な通信教育課程（e-learning course）の魅力を生かすとともに、歴史・文化・自然に恵まれた古都鎌倉に来て、スクーリングによる対面授業に参加し、リアルタイムの指導を通して学びを深めることを実現する。

(2) 2年間のe-learningで幼稚園と小学校の教員免許状の他、多くの資格が取得できる

小学校と幼稚園教諭二種免許状が取得でき

る短期大学通信教育課程として、我が国最初の設置であることも大きな魅力である。准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士といった複数の資格を目指すことを可能としている。

(3) 学校現場に役立つ実践的な授業と充実のスクーリング

オンデマンド授業では、小学校や幼稚園等での教育経験豊かな実務家教員が多数登壇し、教職に立つことをイメージできるよう実践的な授業を展開する。音楽、図画工作、体育といった実技系の科目では、本学の設備を使用しピアノやそのほかの楽器、図工で使用する用具や道具、体育で使用する運動器具などに直接触れ、実践に役立つスキルを修得する。

(4) 通信教育の課題を克服する充実した教育サポート、キャリアサポート

一般に通信教育というと、仲間ができず孤立的・閉塞的に学び、授業やキャリアサポートが

リアサポートとしては、各種実習のガイダンス、就職ガイダンス、採用試験対策ガイダンスなど、鎌倉女子大学の各種講座と連携し、通信教育課程に学ぶ学生対応のオンライン講座として開設する。

このように我が国の短期大学通信教育課程では、他に例を見ないe-learningを取り入れた新時代の教育方法の導入により、現在、日本全国はもとより、海外在住の方々からも問い合わせを頂いている。たくさんの方々の「自分らしく学びたい」という熱意や、教職を目指す意欲等、多様な学習動機を受け止め、今後ますます受講生一人一人に満足して頂けるよう、リスキリングやリカレント教育にふさわしい個別最適な教育環境の充実を図っていく計画である。現在、メディア授業体験動画や入学説明会動画等をホームページ (<https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/>) で公開しているので、ご関心を持った方はぜひご覧いただきたい。

鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course) 開設の概要

名称	初等教育学科通信教育課程 (e-learning course)
修業年限	2年
入学定員	300人(男女共学)
入学時期	2025年4月
選考方法	書類選考の上入学を許可します
出願期間	2025年1月～3月
学納金	初年度 295,000円 2年次 265,000円
取得可能な免許・資格※	小学校教諭二種免許状、幼稚園教諭二種免許状、准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士

※課程認定申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

※科目等履修生も募集をしています。詳しくはホームページをご覧ください。

満足に受けられないというイメージがあるが、本学は、点をつなぐ面となるクラスサイズの「オンラインピアツア」を設け、学生同士、また学生と教職員同士の交流を図る機会を設定している。また、キャ